

D Xハイスクール域内横断支援事業委託業務 企画提案審査基準

1 第一次審査（書類審査）

教育委員会が設置するD Xハイスクール域内横断支援事業委託業務企画提案審査委員会（以下「審査委員会」という。）が(1)から(4)に基づき審査を行う。

- (1) 企画提案の参加者のうち、参加資格を満たしていない者については失格とする。
- (2) 参加資格を満たしている者が3者に満たない場合は、全ての企画提案競技の参加者を第二次審査（プレゼンテーション審査）に参加できる者とする。
- (3) 参加資格を満たしている者が4者以上ある場合については、提出された企画提案書について、「D Xハイスクール域内横断支援事業委託業務 審査項目一覧」（以下「審査項目」という。）において定義されている審査項目事項を審査する。審査方法については、「3 提案の審査」に準拠して行うものとし、企画提案競技の参加者ごとの得点を算出する。
- (4) (3)の場合においては、審査結果に基づき、得点の合計の高い3者を、第二次審査（プレゼンテーション審査）に参加できる者とする。

2 第二次審査（プレゼンテーション審査）

審査委員会の各委員が(1)～(4)に基づき審査を行う。優先交渉権者の決定にあたっては、予定価格などの制限の範囲内において提案があった者のうち、最も優れた提案を行った者を優先交渉権者とする。

(1) 優先交渉権者の決定方法

3に定める審査方法により算出された合計点数（以下「総合点」という。）が最も高い者を優先交渉権者とする。

(2) 総合点の最も高い者が2以上あるとき（同点のとき）の対応

再度、審査委員会で審査を行い、優先交渉権者を決定する。

(3) 提案者が1者となったときの対応

提案が1者となった場合に、総合点が6割以上である場合は、その者を優先交渉権者とする。

(4) D Xハイスクール域内横断支援事業委託業務仕様書（以下「仕様書」という。）について 提案者及び提案内容が仕様書に記載する各要件を満たしていない場合は、その者は不合格となる。

3 提案の審査

提案の審査は、提案書の内容に基づき、審査委員会により行う。

(1) 審査基準、審査項目、配点

審査基準、審査項目及びその配点は、別紙「D Xハイスクール域内横断支援事業委託業

務審査項目一覧」のとおりとする。

(2) 総合点の算出

全ての委員の採点表の合計点をもって、総合点とする。

(3) その他

提案者は、提案書又はプレゼンテーションにて各審査項目を充足していること示さなければならない。提案書又はプレゼンテーションにて確認ができない場合、その審査項目の採点は0点となる。